

【記載要領】

日本医療研究開発機構 脳神経科学統合プログラム(個別重点研究課題)研究開発提案書

以下の記載要領をご確認のうえ、研究開発提案書を作成、提出してください。

過去の応募において、特に、以下の誤りが散見されますので、注意してください。

(1) 応募領域について

e-Rad において応募する公募名と、表紙(本提案書の 1 ページ目)の「公募名(事業名)」「(プルダウンから選択)は、必ず一致させてください。e-Rad における公募名と、本提案書の公募名が異なる場合は、e-Rad における公募名において審査を行います。

(例)

e-Rad: 「2-1「領域2 ヒト高次脳機能のダイナミクス解明」ソロ型」に応募

提案書: 「4-3「領域 4 デジタル空間上で再現する脳モデル開発・研究基盤(デジタル脳)の構築」ソロ型」を選択

→「2-1「領域2 ヒト高次脳機能のダイナミクス解明」ソロ型」として審査。

(2) 研究開発費(直接経費)の金額について

- ・ 過去に、公募要領に記載された上限金額を超過して不受理となったケースや、公募要領に記載している金額よりも大幅に低い金額が記載されており誤記載と思われるケースがありましたので、研究開発費(直接経費)は、所定の欄に正確に記載してください。また、金額の単位を間違える(千円単位で記載すべきところを円単位で記載する等)、全研究期間の合計に記載された金額と、各年度に記載された金額の合計が一致しない等の間違いも見られましたので、注意してください。公募締め切り後の修正は認められません。また、採択にあたりましては、提案書に記載いただいた金額をもとに研究開発計画を実施いただくこととなります。
- ・ 各年度の研究開発経費の上限は、公募要領第 I 部第2章「2.1 研究開発費の規模・研究開発期間・採択課題予定数等」に記載している通り、公募枠ごとに定められています。記載されている金額(上限)は、1年度あたりの金額(上限)であり、全研究期間の金額(上限)ではないことに注意してください。また、全ての年度で記載されている金額の上限を超えないようにご留意ください。1年度でも、記載されている金額の上限を超えていると不受理になりますので、ご注意ください。

※ 【チーム型(4-1,4-2)の研究開発費(直接経費)上限】は、1年度あたりの上限が 30,000 千円、【ソロ型(2-1, 4-3)の研究開発費(直接経費)上限】は、1年度あたりの上限が 12,000 千円です。

(例)

「2-1「領域2 ヒト高次脳機能のダイナミクス解明」ソロ型」に応募。

各年度の研究開発費(直接経費)を、以下のように記載。

令和8年度:11,000 千円、令和9年度:13,000 千円、令和10年度:12,000 千円

全研究期間の合計額:36,000 千円

→全研究期間の合計額は上限(36,000 千円(=12,000 千円/年度 x3年度))以下ですが、令和9年度の研究開発費(13,000 千円)が、1年度の上限額(12,000 千円/年度)を超えるため、不受理となります。

(様式 1)

日本医療研究開発機構 脳神経科学統合プログラム(個別重点研究課題)

e-Rad における課題名と必ず一致させてください。

1. 応募する公募名をプルダウンから選択してください。
2. e-Rad において応募する公募名と必ず一致させてください。e-Rad 上で応募された公募名と本提案書で選択された公募名が異なる場合は、e-Rad 上で選択された公募枠で審査を行いますのでご注意ください。

研究開発課題名 (英語表記)		日本語表記 英語表記	〇〇に関する研究 Study of 〇〇
公募名(事業名)			令和 8 年度 脳神経科学統合プログラム(個別重点研究課題) プルダウン選択 (公募要領第 I 部第 2 章 2.1 項の一覧表から選択)
研究開発期間(本提案における全研究期間)			令和 8 年 9 月(予定) ~ 令和 XX 年 X 月 XX 日(X 年度間) 最長で、チーム型は令和 12 年 3 月 31 日(4 年度間)、ソロ型は最長で 令和 11 年 3 月 31 日(3 年度間)となります。
研究費総額(直接経費)			全研究期間での研究費総額(XX,XXX 千円) ※「7. 各年度別経費内訳」の全研究期間の研究開発費合計と同じ金額を記載ください。 1. e-Rad に記載する金額と必ず一致させてください。 2. 研究開発費(直接経費)の総額であり、間接経費を含みません。
ヒト全ゲノムシーケンス解析			☐ 実施する ☐ 実施しない ※いずれかに☑。実施する場合、ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコル様式を提出。
研究 開 発 代 表 者	氏 名	フリガナ	〇〇〇〇 〇〇〇〇
		漢 字	〇〇 〇〇
		ローマ字表記	Yyyy Yyyyyy
	性 別		男 ☐ 女 ☐ その他 ☐ 回答しない ☐
	生年月(年齢)		19XX 年 XX 月(XX 歳:令和 8 年 4 月 1 日時点)
	所属機関(正式名称)		〇〇法人〇〇大学
	所属部署(部局)		〇〇学部〇〇学科
	役 職		〇〇
研究開発代表者の情報			https://www.
研究開発代表者の研究歴 (主な職歴と研究内容)			本表全体(本欄まで)が1ページに収まるよう、簡潔に記載してください。

注 提出する際には、青文字の記載例を削除してください。

要約(和文)

- A4 縦 1 ページ以内
- 背景(今の状況がどのようで、何が求められているのか)、
目的(背景を受け、本課題を実施する目的)、
方法の概略(どのような方法を用いて、どのように研究を実施し問題を解決するか)、
概要を記載してください。
- 概要など、e-Rad と提案書で重複がある項目は、提案時に e-Rad に記入されている必要はありません。
- 必要があれば、図や表を用いても構いません。

A large sheet of primary-ruled paper. It features horizontal blue lines spaced evenly down the page. Small blue circles, resembling dot markers, are placed at the beginning of each line. The circles are arranged in a grid-like pattern, with one circle per line and multiple circles per line, creating a series of vertical columns. The paper is white and the lines and circles are a light blue color.

1. 研究の背景・目的(2ページ以内)

■研究の背景、および目的・目標について、2 ページ以内で、具体的かつ明確に、評価者が理解しやすいように、記載してください。必要に応じて、図や表を用いて構いません。

(1)研究の背景

■公募要領第Ⅰ部第Ⅱ章「2.3 公募対象となる研究開発課題の概要」の記載内容に基づき、本研究の必要性・重要性が明確に伝わるよう、これまでの研究成果をふまえ、本研究の提案に至った経緯に関して記載してください。社会的背景や経済・産業の要請等についても本項に記載してください。なお、関連する研究領域の動向と、本研究の位置付けが明確になるように記載してください。

■(公募名:4-1 及び 4-2「領域 4 デジタル空間上で再現する脳モデル開発・研究基盤(デジタル脳)の構築」チーム型に応募する場合)研究開発代表者や研究開発分担者の間で、すでに共同研究の実績や共著論文等がある場合は、それを本項に記載してください。

[illegible]

(2)研究の目的・目標

■「(1)研究の背景」をふまえ、本研究を実施する目的、及び研究開発目標(達成しようとする成果等)を記載してください。また、本研究の学術的意義・特色・独創的な点についても、先行研究等との比較や研究のインパクト等を中心に、本項に具体的に記載して下さい。

[illegible]

2. 研究計画・方法

(1)研究開発項目とその内容 (チーム型 5 ページ以内、ソロ型3ページ以内)

■「1. 研究の背景・目的」に記載したことを達成するための具体的な研究計画及び方法を、チーム型に応募する場合は 5 ページ以内、ソロ型に応募する場合には3ページ以内で記載してください。必要に応じ、図や表を用いても構いません。

■研究計画を遂行するための研究体制について、「研究開発代表者」、「研究開発分担者」及び「研究協力者」等の具体的な役割を明確に記載してください。

■研究開発期間全体の計画と年次計画を記載ください。年次計画の記載にあたっては、研究開発期間全体の計画と年次計画との関係がわかるように記載してください。

■研究の目的を達成するためのアプローチ、進め方、手法、到達点とその達成度の判断基準などを具体的に記載してください。

■各研究開発項目間の関係が明確に分かるよう記載してください。

■「6. 研究開発の主なスケジュール」と整合性をとった記載にしてください。

■ 臨床研究においては、基本デザイン、目標症例・試料数及び評価方法等を明確に記載してください。

【概要】

[illegible]

【研究開発項目1】○○○○○○○○

■研究開発項目名及び研究開発担当者(研究開発代表者、研究開発分担者)は、「6. 研究開発の主なスケジュール」の記載と一致させてください。

①研究開発担当者

氏名(〇〇〇大学)

氏名(〇〇〇機構)

氏名((株)〇〇〇〇)

②研究開発全体における、研究開発項目 1 の位置付け

[illegible]

③内容、方法、及びマイルストーン(達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項)

<令和 8 年度>

●内容・方法

[illegible]

●マイルストーン

○○○。

■マイルストーンは、具体的かつアウトプット(到達点・達成事項)が客観的に評価できるように記載してください。

■令和8年度と同様の形式で、以下に最終年度までを年度別に記載してください。

＜令和9年度＞

●内容・方法

○○○○○○○

●マイルストーン

○○○○○○○

【研究開発項目2】○○○○○○○○

■【研究開発項目2】以降は、【研究開発項目1】の記入要領に従い、適宜、項目を追加して記載してください。

(2)本事業の他の研究開発課題への参加の有無

■本事業内での研究費の不合理な重複及び過度の集中(詳細は公募要領第Ⅱ部第2章「2.1 研究費の不合理な重複及び過度の集中の排除」を参照してください)に該当しないことを確認するため、以下を記載してください。

3. 研究の将来展望

[illegible]

7

4. 研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報

	氏名	所属機関	現在の専門	令和 8 年度 研究経費※1 (千円)	エフ オー ト (%)
	生年月(年齢:令和 8 年 4 月 1 日時点)	所属部署(部局)	学位(最終学歴) 学位取得年		
		役職	役割分担		
研究開発代表者	〇〇 〇〇	〇〇〇〇大学	△△△	X,XXX	XX
	S49/11(XX)	△△△学部△△△学科	△△博士(〇〇大学) H14 年		
		△△△	研究の統括		
研究開発分担者	□□ 〇〇	△□大学	□〇□	X,XXX	XX
	S50/11(XX)	△△△学部△△△学科	〇〇博士(□△大学) H15 年		
		□□□	データの解析		
研究開発分担者	適宜、記入欄を増やし、全ての研究開発分担者について記載してください。				
計 2 名			研究開発経費合計	X,XXX	

※1 研究経費については、直接経費を記載してください。

【研究開発代表者】上記の所属機関以外に勤務先がある場合は、記載してください。

※主たる勤務場所が本研究開発課題の主たる研究場所及び上記の所属機関と異なる場合は、その旨を備考に記載してください。

機関名	所属部署(部局)	役職	備考
×□大学	〇〇学部	×××	主たる勤務場所
株式会社○△	-	××	

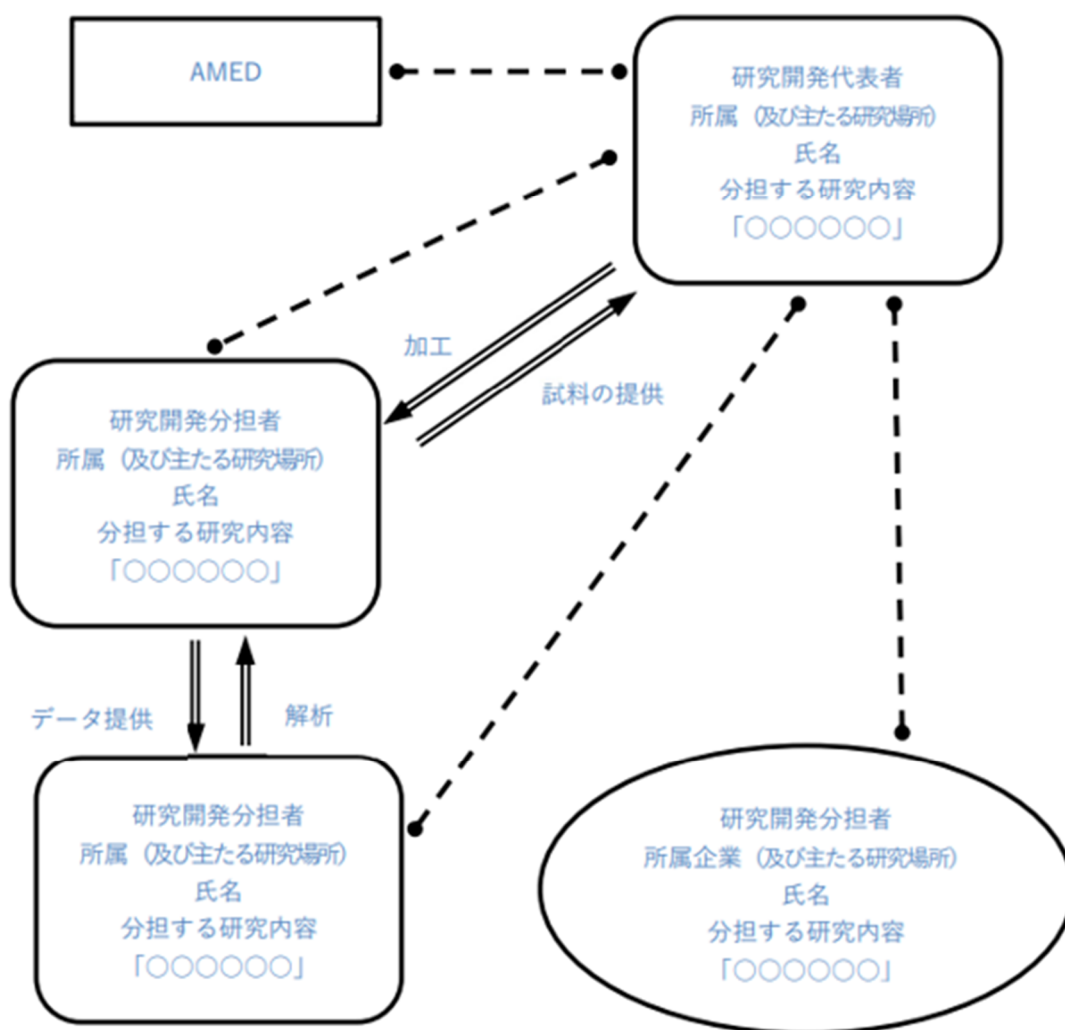
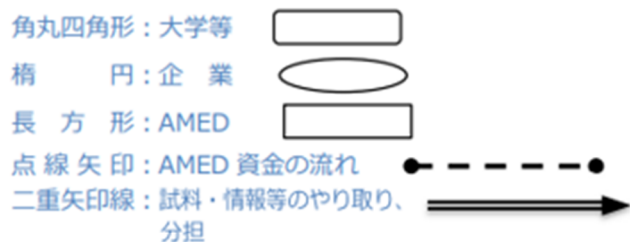
■本研究開発課題の実施の有無及び、雇用契約や給与受取の有無に関わらず、すべての勤務先を記載してください。

5. 実施体制図

■研究開発代表機関、研究開発分担機関の組織(所属機関と主たる研究場所が異なる場合については、主たる研究場所についても記載)、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割がわかるように記載してください。また、研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載してください。

■下記の図は例示として画像データで貼り付けてありますので、提案書作成時には削除のうえ、適切なソフトで作られた体制図を下に貼り付けてください。

【体制図記載例】



6. 研究開発の主なスケジュール

- チーム型に応募する場合は(A)の表に、ソロ型に応募する場合は(B)の表に記載してください。(不用な表は削除してください。)
- 研究開発項目を、「2. 研究計画・方法 (1)研究開発項目とその内容」と対応するように記載し、実施期間を両端矢印線で示してください。
- マイルストーン(達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項)を、下表に示す例示のように、▲で示してください。
- 項目別のスケジュールや担当者がわかるように記載してください。
- 「2. 研究計画・方法」と整合性をとった記載にしてください。
- 各研究開発項目が関連し、他の研究開発項目のスケジュールに影響を及ぼす可能性がある場合には、その点を、破線矢印等で項目横断的に図示する等、分かるようにしてください。
- 別途 Excel で作成した表を貼り付けていただいてもかまいません。
- PDF 化したときに矢印等がずれてしまうことがありますので、本ファイルを PDF 化後に必ずご確認ください。

(A)チーム型

チーム型に応募される場合は、下表に記載してください。

(ソロ型に応募される場合は、本項(表を含む)を削除してください。)

<担当者>

①研究開発代表者:氏 名(〇〇〇大学)

②研究開発分担者:氏 名(〇〇〇機構)

③研究開発分担者:氏 名((株)〇〇〇)

....

研究開発項目 <担当者>	第 1 年度 (R8 年度)		第 2 年度 (R9 年度)		第 3 年度 (R10 年度)		第 4 年度 (R11 年度)	
	1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H
(1) 〇〇関連遺伝子 発現解析 ・アッセイ系の確立 ・発現データ解析 ＜①②④＞	マイルストーン: 〇〇〇〇〇〇〇〇 マイルストーン: 〇〇〇〇〇〇〇〇 マイルストーン: 〇〇〇〇〇〇〇〇							
(2)								

(3)							
(4)							
(5)							
(6)							

(B) ソロ型

ソロ型に応募される場合は、下表に記載してください。

(チーム型に応募される場合は、本項(表を含む)を削除してください。)

<担当者>

①研究開発代表者:氏 名(〇〇〇大学)

②研究開発分担者:氏 名(〇〇〇機構)

③研究開発分担者:氏 名((株)〇〇〇)

....

研究開発項目 <担当者>	第 1 年度(R8 年度)				第 2 年度(R9 年度)				第 3 年度(R10 年度)			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
(1) 〇〇関連遺伝子 発現解析 ・〇〇遺伝子の同定 ・〇〇遺伝子発現解析 <①②④>												
(2)												
(3)												
(4)												

(1)委託研究開発費

■チーム型の研究開発課題に応募される方は(A)の表に、ソロ型の研究開発課題に応募される方は(B)の表に記載してください。(記載しなかった表については削除した上で、ご提出ください。)

■研究開発費(代表研究機関及び全分担研究機関についての合算)の内訳を記入してください。

■間接経費は直接経費の30%以内としてください。

(A)チ-ム型

チーム型に応募される場合は、下表に記載してください。

(ソロ型に応募される場合は、本項(表を含む)を削除してください。)

(単位:千円)

大項目		中項目	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
直接経費	1.物品費	設備備品費					
		消耗材料費					
	2.旅 費	旅 費					
		3.人件費・謝金	人 件 費				
	謝 金						
	4.その他	外 注 費					
		そ の 他					
研究開発費 合計		(上限) 30,000	(上限) 30,000	(上限) 30,000	(上限) 30,000		
以下の欄は審査には用いませんが、AMED 事業予算管理のためにご記載をお願いいたします。							
間接経費 (上記経費の 30%以内)							
計上額 総計							

1. 研究開発費(直接経費総額)は、正確に記載してください。公募締め切り後の修正は認められません。採択にあたりましては、提案書に記載いただいた金額をもとに研究開発計画を実施いただくこととなりますので、ご注意ください。

2. 各年度の研究開発経費の上限は、公募要領第Ⅰ部第2章「2.1 研究開発費の規模・研究開発期間・採択課題予定数等」に記載している通り、公募枠ごとに定められていますので、全ての年度で記載されている金額の上限を超えないようにご注意ください。1年度でも、記載されている金額の上限を超えていると不受理となりますので、ご注意ください。※チーム型では、30,000 千円/年度が研究開発費(直接経費)の上限となります。

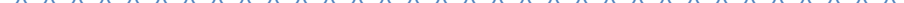
本欄に記載した金額を、表紙(1ページ目)の「研究費総額(直接経費)」に記載してください。

※1 研究力向上のための制度(PI 人件費)の利用を希望する場合は、以下の条件を満たしていることを確認の上、以下の項目を記載ください。(希望しない場合は、記載不要です。)

- ① 直接経費に PI の人件費(の一部)を計上することについて、PI 本人が希望していること。
- ② PI が所属する研究機関において、確保した財源を研究力向上のために適切に執行する体制が整備されていること。
- ③ PI が所属する研究機関において、研究の業績評価が処遇へ反映されるなどの人事給与とマネジメントを実施していること。

研究力向上のための制度(PI 人件費)とは?: <https://www.amed.go.jp/keiri/youshiki.html>

対象者氏名(この研究でのエフォート率、申請額):○○○○(○%、約○○千円/年)

期待される効果: 

- 研究力向上のための制度(PI 人件費)に関する記載も審査の対象となります。
- 当該制度を利用する場合は、提案時の記載が必須です。
- 上記の記載額に関わらず、研究の進捗状況等を鑑みて、年度ごとの契約時に PS、PO が認める範囲のみに制限されることがあります。

(2)研究機関別経費

- チーム型の研究開発課題に応募される方は(A)の表に、ソロ型の研究開発課題に応募される方は(B)の表に記載してください。(記載しなかった表については削除した上で、ご提出ください。)
- 各研究機関の記入欄は、上段に直接経費、下段に間接経費を記載してください。最終行の研究費合計額は、間接経費を含む合計額を記載してください。
- 分担研究機関が3機関以上ある場合は、行を追加してください。

(A)チーム型

チーム型に応募する場合は、下表に記載してください。

(ソロ型に応募する場合は、本項(下表を含む)を削除してください。)

※各研究機関の記入欄は、上段に直接経費、下段に間接経費(単位:千円)

種別	機関名	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	計
代表研究機関	上段、直接経費					
	下段、間接経費					
分担研究機関1						
分担研究機関2						
計上額 総計 (間接経費を含む)						

(1)委託研究開発費の表の最終行(「計上額総計」と同じ金額になっていることを確認してください。)

(B)ソロ型

ソロ型に応募する場合は、下表に記載してください。

(チーム型に応募する場合には、本項(表を含む)を削除してください。)

※各研究機関の記入欄は、上段に直接経費、下段に間接経費(単位:千円)

種別	機関名	R8 年度	R9 年度	R10 年度	計
代表研究機関	上段、直接経費				
	下段、間接経費				
分担研究機関1					
分担研究機関2					
計上額 総計 (間接経費を含む)					

(1)委託研究開発費の表の最終行(「計上額総計」と同じ金額になっていることを確認してください。)

8. 研究業績

- 「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なものの(一人につき 1～15 編程度)を選択し、直近年度から順に記載してください。また、本提案に直接関連する論文・著書については、「●」を付してください。
- (公募名:4-1 及び 4-2「領域 4 デジタル空間上で再現する脳モデル開発・研究基盤(デジタル脳)の構築」チーム型に応募する場合)研究開発代表者と研究開発分担者の共著論文には「◎」を付してください。
- 特許等知的財産権の取得及び申請状況、並びに研究開発課題の実施を通じた政策提言(寄与した指針又はガイドライン等)を記載してください。この提案課題に直接関連するものについては、「●」を付してください。

(1)研究開発代表者 ○○ ○○

<論文・著書>

- M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20
- M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

<特許等知的財産権の取得及び申請状況>

<政策提言>

○○○○○○ガイドライン(○○学会編 XXXX 年)

(2)研究開発分担者 ○○ ○○

<論文・著書>

- M.Kakukaku, T.Dddd, A.Eeee, T.Ffff, Study on Hepatitis…………, Nature, 2020,12,32-40
- M.Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T.Ffff, Study on Malaria…………, Nature, 2019,10,45-54

9. 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

■本研究開発課題の研究開発代表者及び研究開発分担者の応募時点における、(1)応募中の研究費(国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。)、(2)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費)、(3)その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。

■「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記載してください。

■「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

■研究開発分担者がいる場合には、研究開発代表者に加え、研究開発分担者ごとに、全ての研究開発分担者について記載してください。

●【研究開発代表者】: ○○ ○○

e-Rad への提出日を記載し、その時点での情報を記載してください。

(1)応募中の研究費(令和○年○月○日時点)

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和8年度の研究経費(直接経費) [期間全体の額] (千円)	エフォート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
【本研究開発課題】 (R8~R10)	申請者本人への配分予定額(直接経費) ○○と△△の相関に関する実験的研究(○○○○)	代表	6,000 [18,000]	20	研究開発課題全体(直接経費)の総額例)(6,000+6,000(分担者))千円×3 (総額 36,000 千円)*
科学研究費補助金・挑戦的研究(萌芽) (R8~R9・日本学術振興会)	研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額(直接経費)(予定額) ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究(○○○○)	代表	3,000 [5,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 5,000 千円)*
令和8年度○○財団研究助成金(R8・○○財団)	●●と□□の研究(○○○○)	分担	1,000 [1,000]	5	上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額は▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

* ()内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(2)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費)(令和○年○月○日時点)

(注:本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。)

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和8年度の 研究経費(直接経費) [期間全体の額] (千円)	エ フ ォ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
令和6年度○○財団研究助成金(R3~R8・○○財団)	●●と□□の研究(○○○○)	代表	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 5,000 千円)*
○○事業(R6~R8・AMED)	●●と□□の研究(○○○○)	分担	1,000 [5,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

* ()内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(3)その他の活動

エフォート: 50 %

■(1)(2)以外の「その他の活動」のイメージ例

教育 エフォート: 20 %

診療 エフォート: 10 %

社会サービス エフォート: 5 %

その他(学内事務等) エフォート: 15 %

●【研究開発分担者】: ○○ ○○

(1)応募中の研究費(令和○年○月○日時点)

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名(研究開発代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	令和8年度の 研究経費(直接経費) [期間全体の額] (千円)	エ フ ォ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
【本研究開発課題】 (R8~R10)	○○と△△の相関に関する実験的研究(○○○○)	代表	6,000 [18,000]	20	(総額 36,000 千円)*

申請者本人への配分予定額(直接経費)

研究開発課題全体(直接経費)の総額
例)(6,000+6,000(分担者))千円×3

研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額(直接経費)(予定額)

科学研究費補助金・挑戦的研究(萌芽)(R8～R9・日本学術振興会)	〇〇と△△の□□への依存性に関する調査研究(〇〇〇〇)	代表	3,000 [5,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 9,000 千円)*
令和8年度〇〇財団研究助成金(R8・〇〇財団)	●●と□□の研究(〇〇〇〇)	分担	1,000 [1,000]	5	とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載

* ()内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(2)採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費)(令和〇年〇月〇日時点)

(注:本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。)

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究開発課題名 (研究開発代表者氏名)	役割 (代表・分担の別)	令和8年度の 研究経費(直接経費) [期間全体の額] (千円)	エ フ ォ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由
令和6年度〇〇財団研究助成金(R3～R8・〇〇財団)	●●と□□の研究(〇〇〇〇)	代表	1,000 [1,000]	5	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 (総額 5,000 千円)*
〇〇事業(R6～R8・AMED)	●●と□□の研究(〇〇〇〇)	分担	1,000 [5,000]	10	本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。

* ()内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

(3)その他の活動

エフォート: 50 %

■(1)(2)以外の「その他の活動」のイメージ例

教育 エフォート: 20 %

診療 エフォート: 10 %

社会サービス エフォート: 5 %

その他(学内事務等) エフォート: 15 %

10. これまでに受けた研究費とその成果等

■本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者が、直近の 3 年間に受けた研究費(所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。)による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、(1)【AMED 事業】と(2)【それ以外の研究費】に区別して記載してください。

■それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間(年度)、研究開発課題名、研究開発代表者又は研究開発分担者の別、研究経費(直接経費)を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価(当該研究費の配分機関が行うものに限る)結果も簡潔に記載してください。

(記載項目)

資金制度名:

期間(年度):H 年度～H 年度

課題名:

代表者又は分担者の別:

研究経費(直接経費): 千円

研究成果及び中間・事後評価結果:

■研究開発分担者がいる場合には、研究開発代表者に加え、研究開発分担者ごとに、全ての研究開発分担者について記載してください。

●研究開発代表者:〇〇 〇〇

(1)【AMED 事業】

・AMED 〇〇事業(A)、R3～R5、「〇〇に関する研究」、代表者、40,000 千円
××××の成果を得た。

・AMED 〇〇事業(B)、R2～R6、「〇〇に関する研究」、代表者、40,000 千円
××××の成果を得た。

(2)【それ以外の研究費】

・基盤研究(B)、R3～R5、「〇〇に関する研究」、代表者、40,000 千円
××××の成果を得た。

●研究開発分担者:〇〇 〇〇

(1)【AMED 事業】

(2)【それ以外の研究費】

11. 本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等

■以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED 事業の研究開発課題において記載を求めるものです。別途、公募要領に特記事項等として条件が付されない限りは、採否に影響ありません。なお、記載内容は今後の AMED 事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。

- (1) 本研究開発のプロセスの一環として、患者や市民の知見を参考にする予定があれば、その概要を記載してください。(※詳しくは公募要領 3.3.2「医学研究・臨床試験における患者・市民参画(PPI)の推進」をご参照ください)

(1)医学研究・臨床試験における患者・市民参画(PPI:Patient and Public Involvement)について

※記載に係るポイントは、AMED 公式ウェブサイトをご参照ください。

AMED 研究への患者・市民参画:<https://www.amed.go.jp/ppi/guidebook.html>

(2)データベースへの登録・データシェアリングについて

本研究で得られたデータについては、〇〇データベースに登録予定。

(3)キーワード(疾患名以外、10 単語以内)

提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。(研究手法、使用技術、医薬品モダリティ、生命現象、対象部位(臓器、組織、細胞等)、対象集団(妊産婦、AYA 世代など)、実験動物等、の具体名)

1.△△計測 2.〇〇合成阻害剤 3.

(4)対象疾患(10 個以内)

研究の主題に近いものから順番に、主要な疾患名を 10 個以内で記載してください。

なお、未診断疾患が対象の場合は「未診断疾患」、具体的な対象疾患が無い又は未定の場合は「対象なし」と記載してください。

1.△△感染症 2.〇〇病 3.□□症候群

(5)性差を考慮した研究開発の推進について

AMED が支援する研究開発においては、性差が研究対象や成果に影響を与える可能性がある場合、これを適切に考慮することが望まれます。なお、性差としては、「生物学的性(SEX)」と「社会的・文化的性(GENDER)」の両視点を持つことが重要であり、AMED では事業共通的な取組を段階的に進めていきます。令和 8 年度においては、「生物学的性(SEX)」に着目しますので、本項目では、「生物学的性(SEX)」に基づき記載をお願いします。

(<https://www.amed.go.jp/program/list/18/01/seisakenkyu.html>)

以下の①②のうち、いずれか1つを選択してください。残りは削除してください。

- ①性差を考慮する必要があると判断した
②性差を考慮する必要が無いと判断した

以下に選択の理由を記載してください。

(理由)

〇〇〇

(以下は記載例です。なお、理由の文章は1つでも構いません)

記載例)

①性差を考慮する必要があると判断した:

- ・マウスを用いた実験では、雄雌差を考慮し、両性を用いた解析を行う。
- ・臨床研究では、リクルート時は被検者の性別の区別は設けないが、データ解析時は性別によるサブグループ解析、層別解析も行う予定である。結果を外部公表する場合は、可能な範囲で公表する。

②性差を考慮する必要が無いと判断した:

- ・既存の研究や文献において性差を考慮した研究が実施されておらず、現時点で性差の影響に関する知見が得られていないため、性差の考慮は不要と判断した。
- ・既存の研究や文献において性差を考慮した研究が実施されており、性差による影響が認められていないことが確認されているため、性差の考慮は不要と判断した。
- ・研究試料が非常に限定されている難治性疾患であるため、性差の考慮ができなかった。
- ・技術支援基盤構築を行う課題であるため、考慮は不要と判断した。
- ・知財戦略策定を支援する課題であるため、考慮は不要と判断した。